

令和6年度

教育委員会点検評価報告書

(令和5年度事務事業分)

令和6年9月  
印南町教育委員会



## はじめに

本町では、「豊かな心・自立心を育む子育て 教育の郷 いなみ」「住みたい  
住み続けたいと感じられる魅力あふれる郷 いなみ」を推進するため  
第6次印南町長期総合計画前期基本計画（令和3年3月）、子ども・子育て支  
援事業計画「みんなが輝く『いなみっ子未来プラン』」（令和2年3月）に沿っ  
た、家庭教育、幼児教育、学校教育、生涯学習を通して連続性・系統性のある  
印南町の教育を展開しています。

本報告書は、令和5年度に実施した事務事業についての課題や今後の取組の  
方向性を明らかにし、効果的な教育行政の一層の推進を図るために行った点検  
評価の結果をまとめたものです。

今後とも、教育行政の充実、推進に努めてまいりますので、皆様のご理解ご  
協力をよろしくお願い申し上げます。

令和6年9月

印南町教育委員会

## 目 次

印南町教育委員会評価に当たって	2
点検評価結果	5
学校教育関係	6
生涯学習関係	19
幼児対策関係	28

## ～印南町教育委員会評価に当たって～

### 1 はじめに

印南町教育委員会では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の規定に基づきPDCAのマネジメントサイクルを確立すべく、事務事業の点検評価（以下「評価等」という。）を実施し、印南町教育委員会評価委員会（以下「評価委員会」という。）の意見を受け、報告書としてまとめました。



### 2 評価の対象

第6次印南町長期総合計画に基づく、印南町教育計画により実施した事業のうち、主な29の事業について評価の対象としました。

### 3 評価等の方法

- (1) 評価等の際し、まず教育委員会担当者において事務事業ごとに自己点検評価を行い、評価調書を教育長に提出し、教育委員会としてとりまとめたうえで評価委員会に報告しました。
- (2) 評価等の際し、評価等の客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方などで構成する評価委員会で、様々な意見を頂き最終評価を行いました。
- (3) 評価等については、必要性、有効性、経済・効率性、目標達成度の観点から分析し、課題や今後の対応等について示しました。

(4) 評価は、それぞれの評価項目において次の4段階評価としました。

○必要性・・・(住民ニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。)

- 4：必要性は高い。
- 3：必要性はある。
- 2：必要性は少ない。
- 1：必要性はない。

○有効性・・・(施策や目的の実現に寄与しているか。)

- 4：効果は高い。
- 3：効果はある。
- 2：効果はあまりない。
- 1：効果はない。

○経済・効率性・・・(事務効率化・コストを縮減しているか。)

- 4：効率性は高い。
- 3：効率的である。
- 2：あまり効率的ではない。
- 1：効率的ではない。

○目標達成度・・・(計画どおりに目標を達成できたか。)

- 4：十分できている。
- 3：できている。
- 2：あまりできていない。
- 1：できていない。

(5) 評価の今後の方向性については、「拡大」、「維持」、「見直し」、「休止」、「廃止・終了」の5つの方向性で表しました。

(6) 評価等の際し、客観性を確保するため、教育に関し学識経験を有する方で構成する教育委員会評価委員会で様々なご助言を頂きました。

なお、委員は次の方々です。

職名	氏名	所属等
委員長	大江輝男	学識経験者
委員	岡本真由美	学識経験者

#### 4 評価等の結果

評価の結果は以下の通りです。

##### ア 教育委員会評価

拡大する	維持する	見直しする	休止する	廃止：終了する
2	26			1

##### イ 教育委員会評価委員会評価

拡大する	維持する	見直しする	休止する	廃止：終了する
2	26			1

#### 5 まとめ

29の事業のうち「拡大する」と評価されたものは、紀の国緑育推進事業及び学校給食費負担軽減事業の2つの事業です。

また「廃止：終了する」と評価されたものは、切目王子国指定記念イベントの1つの事業です。

残り26の事業は概ね維持するとされました。

今後この評価結果を来年度以降の教育行政に反映させ、時代の流れを見極め、住民のニーズに応えられるよう、その目的、必要性、効果等を十分に検討しながら、事務事業に取り組んでいきたいと思っております。

## 点検評価結果

# 学校教育関係

防災「いなみっ子」未来プロジェクト事業	7
人権教育総合推進事業	8
紀の国緑育推進事業	9
学校給食調理事業	10
学校給食費負担軽減事業	11
各種学校教育補助事業	12
印南町学習支援員配置事業	13
特色ある学校づくり実践研究事業	14
学力向上に係る標準学力調査実施事業	15
外国青年招致事業	16
印南町立小中学校通学及び校外活動スクールバス運行事業	17
印南町学習支援ソフト導入事業	18
統合基本計画策定事業	19

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調査書

担当係名：学校教育係

事務事業名	防災「いなみっ子」未来プロジェクト事業
目的	文部科学省委託「学校安全総合支援事業」として学校の防災教育を推進していく中で、教育委員会及び学校における取組みを『防災「いなみっ子」未来プロジェクト』として位置づけ、さらなる防災教育を推進する。
事業内容	継続した防災避難訓練及び家庭内ワークショップの実施と、地域を巻き込んだ防災教育を推進していくことで、地域全体の防災意識及び防災力の向上を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	503,275	防災教育消耗品、防災リーフレット作成
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	500,370	学校安全総合推進事業県補助金 [10/10]
	その他収入	0	
	一般財源	2,905	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○各園小中学校で定期的な防災避難訓練の実施 [全園小中学校]</li> <li>○印南町園小中一斉地震津波避難訓練の実施 [全園小中学校]</li> <li>○災害発生時の情報伝達訓練 [全園小中学校]</li> <li>○関西大学連携「避難行動をシミュレーションした避難経路の確認」 [印南中]</li> <li>○地域と連携した避難訓練の実施 [切目小・切目中]</li> <li>○家庭内ワークショップの実施 [全小中学校]</li> <li>○民生委員、防災士等と連携した避難所設営訓練の実施 [印南中]</li> <li>○『印南の津波防災』Part6 冊子作成 [印南中]</li> </ul>
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説考 明 察	<ul style="list-style-type: none"> <li>○拠点校である印南中学校では、関西大学と連携し、避難者の行動を具体的にシミュレーションした中での避難経路を点検し、避難行動の中での課題や改善点を確認したり、また防災福祉センターにおいて、民生児童委員や町内の防災士等と連携し、ボランティアセンターの設置運営訓練を行うなど、訓練に工夫がされ高度化してきている。</li> <li>○各小中学校で、防災が「当たり前」のもとして根付いており、継続することで防災意識の醸成が図られてきた。</li> <li>○生徒たちには主体的に防災学習に取り組む姿が見受けられ、特に今後防災活動の中心になっていく中学生に、災害発生時の活躍も期待できる。</li> <li>○どのような場面であっても自らの判断で行動できる子ども達を育成する為には、地道な活動を継続して行うことが重要であるから、そのためには本事業を引き続き実施することが有効である。</li> </ul>
-------------	--

事業の評価 方 向 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	継続した取組により、防災意識が児童生徒のみならず、地域住民にも根付いている。拠点校である印南中学校では新たな取組がなされ、充実が図られている。 南海トラフ巨大地震に対して、備えを万全にすると共に、避難訓練等を繰り返すことで減災に繋がるであろう。また中間山間部における、土砂災害等に対する学習も忘れてはならない。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	人権教育総合推進事業〔保護者学級開設事業〕
目的	広く人々の人権問題に対する理解と認識を深め、人権に関わる問題の解決に資するため、小学校に在籍する児童の保護者を対象として、女性・子ども・高齢者・障害者などの人権に関わる問題についての学習を実施する。
事業内容	人権教育に対する理解を図るための交流や講師による講演会で保護者の人権教育の高揚を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	30,000	謝金
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	15,000	和歌山県人権教育推進事業県補助金〔1/2〕
	その他収入	0	
	一般財源	15,000	

実績・成果	<p>○印南小：人権学習、地域で育てる人権意識、インターネット上にある人権問題等〔計5回〕 〔※参加者数：延184名（保護者154名、その他30名）〕</p> <p>○稲原小：人権学習、教育講演会等〔計3回〕 〔※参加者数：延72名（保護者58名、その他14名）〕</p> <p>○切目小：人権学習、平和学習会等〔計3回〕 〔※参加者数：延140名（保護者71名、その他69名）〕</p> <p>○清流小：学校教育・人権学習、インターネットについての講演会等〔計3回〕 〔※参加者数：延227名（保護者188名、その他39名）〕</p>
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 説明 考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○保護者と学校の連携・情報共有としても「地域と共にある学校づくり」の推進を図り、子どもの学校生活や子育てを通じた人権教育の関わり方について、協議することが出来た。			
	○例年保護者と児童を対象にした講演・研修を行っている。令和5年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響が少なくなり講師を呼んでの講演会を実施することが出来た。参加者数は増加（4校延べ24名増）している。			
事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	それぞれの小学校に於いて、工夫のある取組がなされている。情報機器の発達によるインターネットやSNS等の身近な課題に取り組んでいることは評価できる。 また世界に目を向けると、戦争で生命の危険にさらされていたり、貧困により就学が出来ない子ども達がいる現実にも目をむけていくことも大切である。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する		
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	紀の国緑育推進事業〔稲原小学校・切目小学校・清流小学校・切目中学校・清流中学校〕
目的	森林の生態や自然体験学習を通して自然環境の保全について、再認識するとともに、木工体験学習によって木の価値を理解し、また物作りに対する興味・関心を醸成する。
事業内容	紀中森林組合員指導による森林体験学習を通して、林業に関する作業を自ら体験する。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	1,043,376	指導委託、需要費等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	1,043,376	紀の国緑育推進事業県補助金〔10/10〕
	その他収入	0	
	一般財源	0	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○稲原小学校〔第5学年（14名）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>①木工体験（本立て作り）</li> </ul> </li> <li>○切目小学校〔第5・6学年（23名）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>①木工体験（プランター作り）</li> </ul> </li> <li>○清流小学校〔第5・6学年（29名）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>①木工体験（プランター作り）</li> </ul> </li> <li>○切目中学校〔全学年（43名）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>①森林学習 ②木工体験（ロングベンチ、絵本ラック、本棚作り）</li> </ul> </li> <li>○清流中学校〔全学年（24名）〕 <ul style="list-style-type: none"> <li>①森林学習・間伐体験 ②木工体験（ロングベンチ、脇机作り）</li> </ul> </li> </ul>
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分できている	<input type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 （担当者：自己評価）	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○森林から受ける恩恵等について、身近なものを活用し、教材化をしていく等、継続して森林に対する関心を深めた上で、学習した内容を個々に深め、自然を大切にす精神を育む必要がある。令和3年度は3校実施だったのに対し、令和4、5年度は5校実施に拡充している。令和6年度はさらに7校実施予定である。			
	事業の評価 方向 （教育委員会）	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 （評価委員会）	森林が国土の3分の2を占める日本において、森林についての学習は欠かせないものである。森林は地球温暖化防止、土砂災害防止などの多面的機能を持っている。 森林の持つ意味と役割、森林が抱える課題等を学ぶことは意義深い。物づくりを体験することで木の持つ魅力を感じ、森についての学習を始める端緒としていきたい。
<input type="checkbox"/> 維持する				
<input type="checkbox"/> 見直しする		拡大する		
<input type="checkbox"/> 休止する				
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する				

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	学校給食調理事業〔自校方式〕
目的	学校給食法に基づき、衛生的で栄養のバランスのとれた食事を提供することにより、児童の健康の保持・増進や体格・体力の向上を図り、また、給食時の実践活動をとおして、児童に食生活に対する正しい知識と行動力を養い、食育の推進を図る。
事業内容	自校方式により、地産地消による質の高い多彩な食材を取り入れることで、安全・安心な学校給食の実施と生産から食までの過程を通じた給食教育を行う。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	39,609,305	賃金:36,943千円、補助:634千円、委託料544千円、消耗品等:1,488千円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	39,609,305	

実績・成果	<p>【給食調理業務従事者】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○従事者：会計年度任用職員(フルタイム)(8名)、会計年度任用職員(パート)(9名) 計17名</li> <li>○給与：会計年度任用職員(フルタイム) [月額@157,900円~167,100円、賞与@189,480円~284,070円] 会計年度任用職員(パート) [月額@6,700円~6,900円]</li> <li>○保険等：会計年度任用職員(フルタイム) [学校共済組合(保険・年金)]、 会計年度任用職員(パート) [学校共済組合(保険)・厚生年金・雇用保険]</li> </ul> <p>【各種給食補助】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○燃料費補助：生徒1人@1,000円、検食補助：検食に係る牛乳代</li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 説考 明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	自校方式はセンター方式等より、設備メンテナンスや人件費等で費用がかかる。しかしながら、常に温かいものが食べられることや、食に対する感謝の気持ちを育むことなど自校方式の良さは捨てがたいものがある。 将来的には中学校の統合を機に、さらには小学校の統合などを見据え、柔軟な対応も必要になってくるであろう。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			
	維持する			

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	学校給食費負担軽減支援事業
目的	原油価格・物価高騰対策として、食材費やガス料金等の高騰の影響を受けている学校給食において、保護者の負担を増やすことなく、これまでどおりの質・栄養バランスと量を確保した学校給食を継続するための補助事業を実施し、保護者負担の軽減、子育て世帯の支援を行う。
事業内容	印南町立小学校及び中学校において食材費やガス料金等の高騰の影響により値上げが行われている学校給食費について、1食あたり値上げ分10円～20円の負担軽減支援補助を実施する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	1,356,600	小学校643千円 中学校713千円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	1,356,600	

実績・成果	補助額小学校10円（1食あたり単価から240円を減じた額） 中学校20円（1食あたり単価から300円を減じた額） 小学校643,400円 ○印南小学校（143名） 給食日数：190日 補助金額：271,700円 ○稲原小学校（64名） 給食日数：191日 補助金額：122,240円 ○切目小学校（62名） 給食日数：191日（61名）47日（途中転入1名）補助金額：116,980円 ○清流小学校（69名） 給食日数：192日 補助金額：132,480円 中学校713,200円 ○印南中学校（90名） 給食日数：1年生30名193日・2年生24名191日・3年生36名184日補助金額：339,960円 ○稲原中学校（31名） 給食日数：1年生11名140日/12名55日・2年生5名197日・3年生14名185日補助金額：115,500円 ○切目中学校（43名） 給食日数：1,2年生29名193日・3年生14名183日 補助金額163,180円 ○清流中学校（24名） 給食日数：197日 補助金額94,560円
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説明	○令和4年2学期分から実施の事業であり、令和5年度も引き続きコロナ禍における原油価格・物価高騰対策として、保護者の負担を増やすことなく、これまでどおりの質・栄養バランスと量を確保した。学校給食を継続するための補助事業を実施し、保護者負担の軽減、子育て世帯の支援を行った。 ○令和6年度においては事業を拡大し給食費無償化事業を実施している。
------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	給食費の負担軽減は、子育て世帯にとっては有難い取組である。また令和6年度から公立小中学校の給食費は無償となった。限られた原資のなかでの支出は、他へのしわ寄せが気になるところである。 こうした取組が、少子化に功を奏することを期待する。
	<input type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	拡大する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	各種学校教育活動補助事業
目的	各種学校活動に対して補助を行うことで、学校教育活動の振興及び保護者負担の軽減を図る。
事業内容	修学旅行、部活動、校外活動等の学校活動に係る経費に対して一部補助を行う。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	1,813,270	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	1,813,270	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校外活動費補助 [525,000円 小:338,000円、中:187,000円(補助基準:1,000円/人)] <ul style="list-style-type: none"> <li>・遠足や社会見学などの校外活動に係る保護者負担を減らすための活動補助</li> <li>中学生昼食代:35,427円</li> <li>・和歌山大学キャンパス・県立博物館 美術館見学における校外活動費補助</li> </ul> </li> <li>○部活動補助 [560,337円(補助基準:3,000円/人)] <ul style="list-style-type: none"> <li>・中学校部活動の経費(消耗品等)に対する活動補助</li> </ul> </li> <li>○修学旅行付添教員補助 [398,006円 小:118,596円、中:279,410円(補助基準:(小)22,000円/人、(中)60,000円/人)] <ul style="list-style-type: none"> <li>・修学旅行に伴う児童生徒への教職員付添いにかかる旅費補助</li> </ul> </li> <li>○県大会等参加補助 [294,500円(補助基準:@交通費及び宿泊費)] <ul style="list-style-type: none"> <li>・県大会以上出場に伴い、会場までの交通費や宿泊費等に対する参加補助</li> </ul> </li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	第1次評価 (担当者:自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。					
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。					
判定 及び 説考 明察	<p>○町独自施策として、学校教育活動に対する補助をすることで、保護者負担の軽減及び学校教育活動の振興に繋がっている。</p> <p>○令和5年度においては、町内中学校3年生を対象に連携協定を締結した和歌山大学との連携事業及びキャリア教育の一環として、午前中に和歌山大学を訪問し、午後から県立博物館・美術館の見学を行った。和歌山大学での昼食代を校外活動費として町で補助した。</p>				
事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	部活動や校外活動の活動補助費は、保護者の負担軽減や学校教育活動の振興に大いに寄与している。今後、部活動の地域移行化が進むなか、従来の学校の教育活動を支援するという「くくり」は、見直しが必要になってくるであろう。そうした中、少人数化し統合も控えた中学校が連携した取り組みを実施したことは評価できる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する				
	<input type="checkbox"/> 見直しする				
	<input type="checkbox"/> 休止する	維持する			
	<input type="checkbox"/> 廃止:終了する				

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町学習支援員配置事業
目的	学習規律の確立と学習意欲の向上を図るため、必要に応じて学習支援員を配置することで、個別の支援を行う。
事業内容	町内の小中学校へ学習支援員を配置し、基礎的な学習等の充実をサポートするとともに、学級全体の学力向上を学級担任との連携をもとに支援していく。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	16,732,617	学習支援員賃金等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	16,732,617	

実績・成果	<p>○小中学校へ計7名の学習支援員を配置し、学校での体験活動や問題解決的な学習の充実、少人数指導や習熟度別指導、チーム・ティーチング(TT)により、学習意欲及び学力の向上を図った。</p> <p>○生活面や学習面での支援が必要な児童生徒への対応や個別学習等により、安定した学級運営を築けている。</p> <p>〔※印南小：3.0名 稲原小：0.5名 切目小：1名 清流小：1名【小学校計5.5名】〕 〔※印南中：0.5名 切目中：1名【中学校計1.5名】〕</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○学習の定着に遅れがある児童生徒に対する個別学習や、特別支援学級に在籍する異学年児童への対応、少人数学習等、各学校の実情に応じた配置及び運営を図ることで、効果的な運用が出来たが、今後も保護者との連携を密にしたうえでの活用を行っていく必要がある。			
	事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	学習支援員配置事業に係る事業費は、昨年度から400万円の減となっている。少人数化が進む中、普通学級においては個に対応する指導が容易になり自然な流れである。 一方、特別支援学級の異学年にわたる指導は難しく支援を厚くする支援員の配置は妥当であろう。
<input checked="" type="checkbox"/> 維持する				
<input type="checkbox"/> 見直しする				
<input type="checkbox"/> 休止する		維持する		
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する				

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	特色ある学校づくり実践研究事業
目的	子どもや地域の状況に応じた、地域に開かれた信頼ある学校づくりを目指し、各学校におけるそれぞれの特色を生かした創意工夫に富んだ魅力ある学校づくりに努める。
事業内容	地域に開かれた特色ある学校づくりを実現するため、各小学校及び中学校から1校を指定し、学校に応じた研究主題を設定のうえ、研究成果の発表を通じて研修機会の確保と学校間における研究内容の共有化を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	4,384,169	学習支援員賃金、研究発表用消耗品等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	4,384,169	

実績・成果	<p>○特色ある学校づくり研究指定校及び研究主題 切目小学校：「基礎基本の学力の定着をはかり、学び合い認め合う集団の育成」 ～課題解決のために必要な情報を読み取る力を育てる～ 印南中学校：「『主体的・対話的で深い学び』の充実と発信」</p> <p>○研究発表会参加人数 切目小学校：65名 印南中学校：64名</p> <p>○研究指定校への学習支援員配置 切目小学校、印南中学校に各1名配置</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	<p>○本事業を計画的に実施することで、研究主題を基軸として校長を中心とした全教職員による組織的な研究活動の活性化を図り、また研究発表会を開催することで、他校の教職員の研修機会を確保することが出来た。</p> <p>○令和5年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響も少なくなり、参加人数も増加傾向にある。</p>			
	事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	<p>4年に一度の町内の定期的な研究発表会は、各校において取り組んだ内容をまとめ総括する形で良い機会である。研究発表会に向け教職員が一致協力し、同じベクトルで取り組むことは、学校自体の活力・活性化に繋がるものと考えられる。</p> <p>発表会に向けての多忙化を軽減するといった形の支援員の配置ではあると思うが、その活動内容を検証する必要があると思われる。</p>
<input checked="" type="checkbox"/> 維持する				
<input type="checkbox"/> 見直しする				
<input type="checkbox"/> 休止する		維持する		
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する				

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	学力向上に係る標準学力調査実施事業
目的	確かな学力向上に向けた取り組みをより効果的なものとするため、その調査結果から実態や課題を的確にとらえ、授業の工夫改善に活用する。
事業内容	印南町独自で全国学力学習状況調査・県学習到達度調査の対象外学年・教科の学力調査を実施し、児童生徒一人一人の学習面や生活面の成長の様子を客観的に把握し、今後の指導に生かすことを目的として、小学校4学年から中学校2学年を対象に標準学力調査を実施する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	232,440	標準学力調査集計業務委託
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	232,440	

実績・成果	<p>○標準学力調査実施教科【全小中学校】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4学年：国語、算数、理科</li> <li>・小学校5学年：国語、算数、理科</li> <li>・小学校6学年：理科</li> <li>・中学校1学年：理科</li> <li>・中学校2学年：理科</li> <li>・中学校3学年：理科</li> </ul> <p>○フォローアップワークシート（調査問題に準拠し、復習・見直しに活用する問題集）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校4学年～中学校2学年【全実施教科】</li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 十分寄与する	<input type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。				
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				
判定 及び 説明	<p>○全国学力学習状況調査において、小学校6学年の国語・算数、中学校3学年の国語・数学の実施及び和歌山県学習到達度調査において、中学校1・2学年の国語・数学・英語、中学校3学年の英語の実施に合わせ、町独自に小学校4学年以上の全児童生徒を対象として、標準学力調査を実施したことで、小学校4学年から中学校3学年までの国語、算数(数学)、理科、英語による児童生徒の学力の定着状況を把握し、各学校での指導の成果及び課題を分析することで、一層の学力向上へ向けた学校全体としての指導の工夫・充実が生かすことが出来た。</p>			
事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	<p>子ども達の学力の定着に、テストは必要である。特に極小規模校が多い本町において客観的なデータを得られるこうした学力テストは有意である。ただ、重複する教科もあり精選をしていくことも必要である。</p> <p>学力テストの結果を押さえて、学校における指導方法の検証が大切であるが、子ども達の生活状況を把握する質問紙調査も積極的に活用していきたい。</p>	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする			
	<input type="checkbox"/> 休止する	維持する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	外国青年招致事業
目的	外国語教育の充実を図るとともに、地域レベルでの国際交流を推進することを目的に、外国語指導助手(ALT)を任用し、外国語によるコミュニケーション能力を身に付けた人材を育成する。
事業内容	外国語指導助手(ALT)を任用し、小中学校では外国語活動や外国語授業の指導助手として活用、また認定こども園いなみこども園や学童クラブにおいても遊びを通じた外国語活動を行うことで外国語教育の充実と外国語に親しむ機会の確保を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	4,975,956	外国青年報酬(月額R5.7月まで325千円、R5.8月から280千円)、車借上料等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	4,975,956	

実績・成果	<p>【外国語指導助手の任用】 令和2年11月から シェワーン ジェーン ロバータ スタッグ(令和5年7月まで) 令和5年8月から カーマイケル バルリー アンデモーリス(令和6年3月まで)</p> <p>【主な活動内容】 ○小学校：外国語活動の補助 ○中学校：外国語授業の補助 ○いなみこども園：外国語に親しむための遊び ○学童クラブ：外国語活動</p>
-------	--

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
		<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。					
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。					
判定説考 明察	<p>○外国語の授業において、ネイティブスピーカーによる指導の機会を確保することで、外国語をより身近なものとし、児童・生徒の語学習得意欲及び積極性の向上が図られた。</p> <p>○令和2年度より任用していた外国語指導助手(ALT)が令和5年7月末で3年間の任期を満了したため、令和5年8月7日から新たにALTを任用していたが、令和6年3月に退職している。令和6年度からの新しいALTは令和6年7月29日に着任する。</p>				
事業の評価 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	小学校での英語学習、中学校の英語学習での授業改善等に果たすALTの役割は大きい。子ども達の音声改善やコミュニケーションへの意欲向上は顕著にみられる。しかしながら、小学校での授業開始に伴い、中学校英語での語彙数の増加、難解な文法事項が増えたことによる指導教員や生徒への負担が伺える。使える英語習得には、平易な内容の繰り返しが必要ではないかと思われる。		
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する				
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する			
	<input type="checkbox"/> 休止する				
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する				

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町立小中学校通学及び校外活動スクールバス運行事業
目的	へき地教育振興法に基づき、遠距離通学による児童生徒の負担軽減を図り、教育の振興に資するための通学に係る運行、また校外学習活動の推進を図ることを目的にスクールバス運行を実施する。
事業内容	稲原小学校、清流小学校、清流中学校の統廃合により遠距離通学となった児童生徒の通学に要するスクールバス5台を運行する。また、社会見学等校外活動や部活動においてスクールバスを効果的に運用する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	16,542,656	通学：13,316,710円 校外活動：3,225,946円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	16,542,656	

実績・成果	<b>【通学運行】</b> ○稲原小学校：2台（立石路線、切山路線） ・立石路線〔1台：26人乗り〕：9名利用      ・切山路線〔1台：26人乗り〕：13名利用 ○清流小学校：2台（真妻路線、櫻川路線） ・真妻路線〔1台：26人乗り〕：14名利用      ・櫻川路線〔1台：15人乗り〕：10名利用 ○清流中学校：1台（真妻路線） ・真妻路線〔1台：26人乗り〕：7名利用 <b>【校外活動運行】</b> ○印南小学校：9回 稲原小学校：11回 切目小学校：12回 清流小学校：21回 印南中学校：46回 稲原中学校：31回 切目中学校：41回 清流中学校：11回
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 説考 明察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○校外活動バス運行については、特に部活動において近畿大会や全国大会出場により遠距離となる県外遠征でスクールバスを運行することで、安全の確保及び利便性の向上が図られている。 ○今後も、継続して運行会社・学校・教育委員会による定期的な三者会議を開催し、より一層の安全確保の徹底を図っていかねばならない。 ○学校と運業者との連携を密にし、児童生徒の情報及び気象条件や危険箇所の有無等を情報共有し、安全運行の確保を図らなければならない。			
事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	少子化に伴う統廃合により、通学範囲が広範囲に及んだことでスクールバスにかかる経費が必要となった。今後、中学校での統合により路線の増加も予想され経費増加が見込まれるが致し方ない。今後、遠距離による通学者が不利益にならないようなさらなる配慮が必要となる。学校は遠くなるが、住み続けたいと思えるような教育に対する継続的な環境整備を期待したい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する		
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町学習支援ソフト導入事業
目的	授業でのICT活用を進める事により、過度な蜜状態を回避しながら、グループワーク等共同作業に取り組むことができる環境を整備する。必要に応じてオンライン授業を提供し、感染症対策と児童生徒の学びを保障する。
事業内容	町内全8校に学習支援ソフトを導入し、利活用を促進する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,273,700	使用料
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	2,273,700	

実績・成果	○町内全8校にて学習支援ソフト（SKYMENU Cloud）を令和3年度において導入し、これを引き続き活用するもの。
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 説明 考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	システム導入にあたっては、国庫補助金を利用できたが、以降は使用料として年間かなりの経費がかかる。 個別の学び、協働的な学び、一斉学習など多様な学習場面で活用し、無償ソフトにはないこのソフトの機能を熟知し生かしていきたい。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する		
	<input type="checkbox"/> 休止する			
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する			

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：学校教育係

事務事業名	印南町立中学校統合基本計画策定事業
目的	令和10年4月を開校予定とする統合中学校の建設に関し、「印南町教育委員会統合基本方針」を踏まえ、諸条件を整理したうえで、校舎の配置や規模、スケジュール等、設計の前提となる基本方針や考え方をまとめた基本計画を策定する。
事業内容	設計事業者と委託契約を締結し、統合基本計画と、敷地内の配置図及び建物の図面案を作成する。 作成にあたり、教育委員会、統合委員会、庁内検討PT会議、学校職員等との意見調整を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,860,000	基本計画策定支援、計画図面案の作成
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	2,860,000	

実績・成果	○印南町立中学校統合基本計画の策定 ○配置計画図案・平面計画図案の作成(5案)
-------	--

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト縮減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者:自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説明	○統合中学校建設にあたり、目指すべき学校像のコンセプトや、備えるべき機能、必要となる諸室数などを整理した。 ○生徒数の推移見込、スクールバスの運行範囲の検討などを行い、計画書に整理した。 ○各方面からの意見等を集約し、最終5つの図面案を作成した。 ○基本計画の内容は、次年度以降の設計業務に反映させていくものである。
------	---

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	統合のコンセプト「一人ひとりを大切に。いなみから国際化へ」～学校・地域の活気とICT、英語教育の充実による人材の育成～とし、令和10年の開校を目指し、着実に計画は進められている。 統合中学校の敷地に、将来的に統合小学校を併設するという構想がある中で、できるだけ早期に小学校統合に対する地域住民の合意を得たい。 また、その全体の進捗状況を広報していきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止:終了する		

# 生涯学習関係

公民館事業	2 1
青少年健全育成事業	2 2
スポーツ振興事業	2 3
読書のまちづくり事業	2 4
第 6 回いなみまめダムマラソン大会	2 5
文化財保護事業	2 6
印南町民プール管理運営事業	2 7
図書館司書配置事業	2 8
切目王子国指定記念イベント	2 9
人権啓発事業	3 0

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	公民館事業
目的	住民一人ひとりがその生涯にわたって、実際の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種事業を行い、住民の教養の向上、健康増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。
事業内容	印南町全体だけではなく、地域の課題に即した教育や活動を推進していくことで、生涯学習への参加機会の拡充を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	1,935,943	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	1,935,943	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○花いっぱい運動の実施〔印南分館・稲原分館・切目分館・切目川分館〕</li> <li>○地区内清掃活動の実施〔印南分館・切目分館・切目川分館・真妻分館〕</li> <li>○真妻山登山整備事業〔真妻分館〕</li> </ul>
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。

判定説明	<p>○新型コロナウイルス感染症の影響が縮小したことを受け徐々に事業を復活させていった。公民館本館事業では春のおはなし会を実施し、公民館分館活動では、ちびっこビーチボールバレー大会（印南分館）を実施するとともに、花いっぱい運動、清掃活動などの実施を行い、令和6年度につなげていく形となった。</p>
------	---

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	新型コロナウイルス感染症により数年色々なイベントが中止となったが、現在徐々にではあるが復活してきている。 地域コミュニティの醸成という視点では、分館活動の在り方が鍵となるが、地域を巻き込んだ活動にまでは至っていない。真妻、稲原地区での有志による取組が理想的な形である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	青少年健全育成事業
目的	家庭、地域、学校など関係機関との連携により、地域ぐるみでの見守り体制や諸事業を実施することで青少年の健全育成と非行防止を図るとともに、生涯学習や生涯スポーツ、ボランティア活動、地域イベント等への参加を促進し、地域との関わりの強化を図る。
事業内容	夏期休業期間の保護者による深夜巡回やあいさつ声かけ運動等による非行防止、小中学生から組織されるジュニアリーダーが率先して地域イベントへの参加、ボランティア活動への参加呼びかけにより地域ぐるみでの見守り体制や地域との関わりの強化を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	314,433	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	314,433	町補助金

実績・成果	<p>○愛のパトロール〔実施期間：令和5年7月21日(金)～8月27日(日)〕                  〔※参加者数：179名(印南56名、稲原18名、切目川24名、真妻10名)〕</p> <p>○あいさつ声かけ運動標語〔募集対象：町内小中学生〕                  〔※応募作品数：503点(入賞者31名)〕</p> <p>○ジュニアリーダー〔登録者数：9名〕</p> <p>○ドルフィンスイム体験 日時：令和5年8月22日〔参加者：8名〕</p> <p>○いなみっ子科学教室                  概要：園児・児童を対象とした科学教室を実施。                  講師を招いて液体窒素を使った実験やジャンピングロケットの作成を行った。〔参加者：21人〕</p>
-------	---

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定 及び 説明	<p>○昨年度同様に、新型コロナウイルス感染症の影響により事業を縮小しての実施となった。本事業の2本柱のうち、雪国体験学習は令和5年度も実施できなかったが、ドルフィンスイム体験について4年ぶりの実施を行えた。また、2本柱の代替として、令和4年度に引き続きいなみっ子科学教室を実施したが、昨年度と同様の内容であったため参加人数が少なかった。令和6年度も実施する場合は内容を新しくしたい。</p> <p>○あいさつ声かけ運動標語について、令和5年度のテーマは「希望」であり、全503点の応募があった。審査については校長会に依頼しており31名が入賞している。</p> <p>○ジュニアリーダー事業では、9名の応募があった、またジュニアリーダー活動についてはあまり実施できなかった。令和6年度にあっては積極的に実施していきたい。</p>
----------------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	多様な体験活動、そして成功体験は自己肯定感を促す。そのような理念から教育委員会が主催する多様なイベントは効果が期待できる。 また、ボランティア活動等は、自己有用感を育むことも期待できる。 学校と家庭だけでは、体験できない活動や社会性を養う集団行動等、今後も継続していきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	スポーツ振興事業
目的	スポーツを通して、子どもから大人まで幅広い世代の体力の向上や健康の維持増進を促進することを図る。
事業内容	幅広い世代のスポーツの競技力及び身心の調和のとれた体力向上や健康の維持増進を図る。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	3,329,515	スポーツ推進委員賃金、各種団体補助、ジュニア駅伝等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	3,329,515	

実績・成果	<p>○少年スポーツ活動事業〔6競技(8団体)〕 〔野球：2団体、柔道：1団体、バレー：2団体、剣道：1団体、テニス：1団体、サッカー：1団体〕</p> <p>○体育協会事業 〔大会実績：町長杯ゲートボール大会、陸上クラブマラソン大会、ビーチボールバレー大会、グランドゴルフ大会〕</p> <p>○ジュニア駅伝競走大会〔結果：印南町チーム 12位〕</p>
-------	--

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。				
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				

判定説明	<p>○少年スポーツについては、コロナ禍と比較して、大会等へ出場も多くなり、精力的に練習に取り組んでいる。今後も団体と協力をしていくことで競技力の向上や健全な心身両面に寄与していくと思われる。</p> <p>○体育協会事業については、1団体(野球)のみ大会を実施することができなかった。</p> <p>○ジュニア駅伝競走大会では、結果が12位となり、大変健闘した。</p>
------	--

事業の評価性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	子どもから大人まで町内のスポーツ愛好者は多く盛んである。少年スポーツは少子化に伴い、競技人口は減少傾向にあるが、指導者と子ども達の頑張りや、種々の大会において好成績を収めている。高齢者スポーツとしてはゲートボール、グランドゴルフが人気である。また町内に3つのゴルフ場があることから、ゴルフ愛好者も多い。 スポーツがもたらす爽快感、達成感、他者との連帯感、またストレスの発散、生活習慣病の予防など心身の健康保持にスポーツは多に寄与している。そうした現状から継続して支援が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする		
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		
		維持する	

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調査

担当係名：生涯学習係

事務事業名	読書のまちづくり事業
目的	子どもたちが、言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かなものにし、人生をより深く生きる力を身につけていく上で、欠くことのできない読書活動を推進するための施策を、総合的かつ計画的に実施していくこと（印南町読書のまちづくり事業計画）。
事業内容	春のおはなし会の開催、図書の購入、図書システムの管理運営。 季節に応じた図書の紹介やブックスタート事業で本に触れるきっかけづくりを行っている。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	5,602,488	図書購入費、図書管理システムリース料、協会負担金等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	5,602,488	

実績・成果	<p>○令和5年度については「春のおはなし会」をコロナ禍以来実施できたが、多くの子どもたちが参加してくれた。</p> <p>○公民館図書室の年間図書購入冊数は、924冊（一般書447冊、児童書167冊、絵本236冊 AV2本、雑誌72冊）。</p> <p>○公民館図書室の年間利用実績については、利用者7,114名・貸出冊数23,817冊、それぞれ昨年度比200名増・895冊減である。</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。 <input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。 <input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定	<p>○図書室の利用者数が増えた反面、貸出冊数が減少している。 コロナ禍に伴う行動規制が緩和されたことに伴い、気軽に訪問してくれる方が増えたことによるものと思われる。</p> <p>○今後は本を借りたことがない人がいかに本に触れてもらうか、啓発活動の強化を図っていく必要がある。</p>
----	---

事業の評価 性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	<p>子ども達にとって読書は読解力や知識が身につくだけでなく、論理的な思考力や集中力などを養う効果があるとされている。一方大人にとって、読書は能動的に活字を読むために脳が活性化され、想像力も豊かになると言われている。</p> <p>情報機器の発達・普及により、得たい情報が瞬時に得られることや、多忙により時間的余裕がないなどが読書離れの原因かと思われる。小・中学校での読書タイム等で読書の楽しさを体験させることが改善への一方策であろう。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする		
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		
		維持する	

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調査

担当係名：生涯学習係

事務事業名	第6回いなみまめダムマラソン大会
目的	大会を通じ広く各層、各地域からの参加を得て、走ることにより健康の維持増進とランニングスポーツの振興、地域の活性化に寄与する。
事業内容	11月5日（日）切目川ダムの会場においてマラソン大会を開催する

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	1,101,927	リストバンド、タオル、当日会場設営等
財源内訳	国庫補助金		
	県補助金		
	その他収入	401,927	参加費他
	一般財源	700,000	

実績・成果	いなみまめダムマラソン 第6回大会（2023年11月5日）					
	区分	申込数	参加数	欠席数		
	町内	338組 360名	324組 345名	14組 15名		
	町外	271組 306名	256組 290名	15組 16名		
	合計	609組 667名	580組 635名	29組 31名		

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定	説考	明察
		○4年ぶりとなる実施であり、多くの課題がありながらも開催者、参加者の熱意もあり成功に導けた。 令和5年度の課題を改善しつつ、令和6年度も引き続き実施していきたい。

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	歴史あるマラソン大会がコロナ禍を経て、復活出来たことは喜ばしい。 自然豊かな印南町の景観を町内外にアピールできる場でもあり大切にしたいイベントである。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調査

担当係名：生涯学習係

事務事業名	文化財保護事業
目的	町内に所在する文化財のうち、町にとって重要なものについて、その保存及び活用のため必要な事業を行い、町民の文化向上に資する。
事業内容	文化財保護審議会の開催、文化財の保護・修繕、普及啓発活動を行う。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	204,594	委員報酬、その他 ※切目王子関係は別掲
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	204,594	

実績・成果	<p>○文化財保護審議会：12月18日（月）</p> <p>○切目王子跡が国史跡「熊野参詣道・紀伊路」に追加指定されたことに伴う 石柱・掲示板等の整備事業（事業費についてはNo.9切目王子国指定記念イベントに掲載）</p> <p>○県指定記念物「東光寺のナギの木」の樹勢回復を実施※事業費は東光寺が全額負担</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説考	<p>○文化財保護審議会委員による現地視察として川又の安養寺にあるカゴノキを視察した。</p> <p>○切目王子国指定記念イベントの実施に伴う切目神社内への看板等の整備を行った。</p> <p>○従来から審議委員会において提言されている町指定文化財候補となっている文化財の視察を行っていないことから令和6年度にあってはそれらの指定に向けて取り組みを促進したい。また町内に散在する民俗文化財となるであろう各種文物の所在・数量・状態等を調査し台帳化に取り組みたい。</p>
------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	町内にある文化財を知らずに、町外に出てしまう人も少なからずいるように思われる。町内の小中学校のフィールドワークやふるさと文化財マップの活用等を充実させていきたい。 今後、統廃合が進むであろう小中学校において、「ふるさと教育」にさらに取り組み、幅広い印南町を学習し、ふるさとを誇りに思い、愛する子どもを育てていきたい。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	印南町民プール管理運営事業
目的	町内の小中学校児童生徒及び一般住民の水泳技術並びに水泳能力の向上を図り、心身の錬成と健康の維持及び増進を図る。
事業内容	広く町民の利用や地元小中学生の学校プールとしての利用等を図るため、7月から8月の2ヶ月間を町民プールとして開館・運営する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	4,764,600	機械等維持管理：57,200円、敷地借上料：2,000,000円 水質検査：29,700円、水質保全薬：174,200円 プール管理委託業務：2,503,500円
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	4,764,600	

実績・成果	<p>○開館期間：令和5年7月2日～8月27日(57日間)(R4:26日間)</p> <p>○利用者人数：2,318名(R4:618名)</p> <p>○令和4年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、一般開放は行わず、学校授業、こども園への限定開放で開館期間も7月までであったが、令和5年度からは一般開放も再開し開館期間も延長したため利用者数について大幅に増加した。</p>
-------	--

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input checked="" type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定及び考察	<p>○町民プール敷地については、平成7年度より私有地を借上げ、毎年借地料を支払っている状況である。</p> <p>当該土地借地料は町が借用している他の土地借地料と比較すると、大きく上回っていたが所有者と協議をした結果、平成30年度に段階的に借地料を下げしていく覚書を交わしており、令和2年度から令和6年度までの5年間は平成29年度と比べ約4割減となった。</p>
--------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	地元の小中学校やこども園が優先的に使う町営プールであるが、管理委託料、借地料が大きな経費を占めている。夏季限定であり、利用者数も町立体育館等に比較すると格段に少ないと思われる。 しかしながら、近隣市町村で本格的なプールを所有するところは少なく、貴重なスポーツ施設として大切に維持管理していきたい。 将来的に学校の統廃合が進めば、プール施設の在り方も考える必要がある。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	図書館司書配置事業
目的	町内の小中学校及び公民館図書室の運営の改善・向上を図り、児童・生徒・住民による図書室の利用の推進。おはなし会などへの協力による町内の読書活動の推進。
事業内容	小中学校並びに公民館の図書の整理、貸出し。子育てサークル・こども園・学校等での読み聞かせ。学校図書・公民館図書の選書。春のおはなし会への協力。「印南町読書のまちづくり事業推進委員会」の推進

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	3,216,396	図書館司書給与、期末手当、社会保険
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	3,216,396	

実績・成果	<p>○令和5年度貸出冊数</p> <p>公民館：23,817冊</p> <p>中学校：2,852冊</p> <p>小学校：28,502冊</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。				
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				

判定説明 及び考察	○生徒数の減少に伴い貸出冊数は減少傾向にあるものの、一人当たりの貸出件数について分析していく必要がある。
--------------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	<p>「読書のまちづくり事業」を支え、推進していくにあたり図書館司書の果たす役割は大きい。</p> <p>小中学校においては、子ども達への指導、図書室環境の整備、教職員の支援等、学校現場ではなくてはならない存在になっている。</p> <p>公民館の図書室においても、蔵書の整理や新刊のアピール、住民やこども園等での読み書きせ等活动は多岐にわたっており、今後もこの事業は継続していくべきである。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	切目王子国指定記念イベント
目的	令和4年11月に切目王子が国指定史跡となったことを記念してイベントを実施する
事業内容	国指定を記念したイベントの開催（漁港での花火・石見神楽の演奏、切目神社での石見神楽の奉納及び切目小学校での基調講演） 記念イベントに合わせた切目王子内の掲示板の改修・新設、国指定史跡の石柱の設置を行う。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	4,230,430	石見神楽の招致、石柱・掲示板等の整備
財源内訳	国庫補助金	1,078,000	石柱・掲示板の整備にかかる国庫補助金
	県補助金	161,000	
	その他収入	0	
	一般財源	2,991,430	町補助金

実績・成果	<p>○切目王子の国指定を記念したイベントとして、切目王子にゆかりのある神楽を行う 島根県・愛知県の団体を招致し神楽の奉納をおこなった。</p> <p>○令和5年11月11日（土）：印南漁港内でいなみかえるのフェスティバルと合同開催 で、石見神楽の演奏</p> <p>○令和5年11月12日（日）：切目王子内で石見神楽・花まつりの奉納 切目小学校で基調講演を開催</p> <p>○神社前への石柱の新設、境内の看板の修繕、参道前への掲示板の新設</p>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。				
<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				

判定 及び 説明	<p>○漁港内での花火等のイベントは11月で気温も低いものであったにもかかわらず、多くの方が訪れ大変な賑わいであった。また石見神楽についても非常に盛り上がるものであった。</p> <p>切目王子での石見神楽・花まつり奉納についても天候に恵まれ多くの関係者を迎え、厳粛な雰囲気の中で開催された。</p> <p>また国指定記念の掲示板・石柱等もイベント当日までに整備され、切目王子のさらなる広報・啓発に資するものとなっている。</p>
----------------	---

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	印南町初の国指定文化財になり、花火大会、石見神楽等のイベント開催で、町民だけでなく幅広くその存在をアピール出来た。 事業は終了となるが、今後も印南町の観光資源の一つとしてアピールしていけたらと考える。
	<input type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	廃止・終了	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input checked="" type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：生涯学習係

事務事業名	人権啓発事業
目的	多様化する人権問題について、人権学習の推進及び人権啓発活動に取り組むことにより、町民一人ひとりの人権意識の高揚をはかるとともに、人権を尊重する社会の実現をめざす。
事業内容	人権啓発物品の作成・配付を行う。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	206,655	啓発事業消耗品等
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	103,000	人権啓発事業県補助金
	その他収入	0	
	一般財源	103,655	

実績・成果	<p>○人権啓発物品の作成・配布</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・作成物品：人権啓発ロゴ入り風船300個 人権啓発標語入りペン100本 人権啓発標語入り防犯ブザー75個 風船クリップ500個</li> <li>・配布場所：各種会議、イベント等で配布。ブザーは各小学校新入生に配布。</li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト縮減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説考 及び 考察	<p>○人権啓発物品の作成・配布については、町内のイベントを中心に様々な機会において活動を行うことができた。</p> <p>○啓発物品には、あいさつ声かけ運動標語の各部門最優秀作品を使用しており、標語の浸透にも活用している。</p>
------------------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	幅広く町民に「人権の大切さ」を考えてもらうことを目的に教育委員会が推し進めている啓発事業である。県の補助金が支給されており、半額が町負担となっている。過去何回か有名講師を招聘し講演会を実施してきたが、有名講師を招くには多額の費用がかかり、毎年の開催は難しい。啓発活動として、物品配布等もいいが、もう一工夫あっても良いと思う。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

# 幼児対策関係

地域子育て支援拠点事業	3 2
学童保育（放課後児童健全育成事業）	3 3
放課後子ども教室推進事業・子どもの居場所づくり推進事業	3 4
認定こども園運営及び広域保育園園児委託事業	3 5
教育・保育の質の向上のための研修等事業	3 6
外国人講師派遣事業	3 7

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	地域子育て支援拠点事業
目的	乳幼児親子の交流等を促進する子育て支援拠点施設において、遊びを通して子どもの成長発達を促すとともに子育ての不安感等を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援する。
事業内容	いなみっ子交流センターを拠点とし、育児教室の開催や子育てサークル支援として子どもとのかかわり方や発達等についての講座、育児相談を行う。また、出生届提出時、6か月児と2歳児を対象にブックスタートを実施し、絵本の読み聞かせや絵本の選び方等の指導を行う。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	6,848,166	
財源内訳	国庫補助金	2,541,000	子ども・子育て支援交付金 [1/3]
	県補助金	2,541,000	子ども・子育て支援事業県補助金 [1/3]
	その他収入	0	
	一般財源	1,766,166	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○育児教室（ひまわり教室） <ul style="list-style-type: none"> <li>・親子の触れ合いを育むことができる内容を取り入れたさまざまな遊びを実施した。</li> <li>・年間実施回数：12回 ・平均参加親子数：10.5組</li> </ul> </li> <li>○子育てサークル支援 <ul style="list-style-type: none"> <li>・支援員による子育てに関する情報の提供や絵本の読み聞かせを行った。</li> <li>・年間実施回数及び平均参加親子数：スマイル(印南)38回7.3組、ひよこクラブ(稲原)12回1.1組、よちよち会(切目)12回4.0組、さくらんぼ(切目川)12回2.0組</li> </ul> </li> <li>○ブックスタート <ul style="list-style-type: none"> <li>・乳幼児には絵本の読み聞かせを行い、保護者には絵本に接する重要性の理解に努めた。</li> <li>・年間実施回数：12回 ・対象親子数：6か月児32組、2歳児51組</li> </ul> </li> </ul>
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

第1次評価 (担当者：自己評価)	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がっていないが、改善の余地がある。
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。

判定説明 及び考察	<ul style="list-style-type: none"> <li>○毎月のひまわり教室や家庭教育支援員会議において、家庭教育支援員といなみこども園保育教諭との情報共有ができ、家庭教育のより良い支援に繋がっている。</li> <li>○低年齢児のいなみこども園等への就園率が上昇傾向にあり、子育てサークルの参加数は稲原地区と清流地区で減少傾向であった。印南地区と切目地区はやや増加傾向であったが、少人数の子育てサークルに参加したいという参加者もいた。孤立した子育てを防ぐために、家庭教育支援員による声掛け等を強化していく必要がある。</li> </ul>
--------------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	幼児教育の今日的課題として、幼児教育を構成する家庭や地域社会の教育力の低下が指摘されている。 「親と子が共に育つ」という視点に立つ取組として、町の「育児教室」「子育てサークル」等は重要な事業である。 低年齢児のいなみこども園への就園率が上昇しているなか、家庭教育支援員といなみこども園保育教諭等の連携は今後一層強化していくべきであろう。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	学童保育（放課後児童健全育成事業）
目的	保護者が仕事などで家を留守にしている家庭の小学生を対象として、放課後や学校の休業日に、児童の安全な居場所の確保と健全な育成〔遊びや生活の場、集団での学びの場の提供〕を図る。
事業内容	町内4小学校児童を対象にいなみっ子交流センターにおいて、生活の場や学習する機会の提供、及びさまざまな体験活動を実施する。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	11,455,660	
財源内訳	国庫補助金	2,652,000	子ども・子育て支援交付金〔1/3〕 保育士等処遇改善臨時特例交付金〔10/10〕
	県補助金	2,652,000	子ども・子育て支援事業県補助金〔1/3〕
	その他収入	3,958,400	学童利用料
	一般財源	2,193,260	

実績・成果	<p>○学童保育利用人数</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・通常利用：70名（印南小47名、稲原小2名、切目小9名、清流小12名）</li> <li>・延長利用：17名（215回）</li> <li>・臨時利用：11名（67回）</li> <li>・夏休み利用：13名（印南小6名、稲原小1名、切目小2名、清流小4名）</li> </ul> <p>○主な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習（宿題）、英語教室18回、百人一首教室12回、放課後子ども教室児童との合同活動41回、読み聞かせ、避難訓練、ボランティア活動等</li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 （担当者：自己評価）	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない

第1次評価 （担当者：自己評価）	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。

判定説明 及び考察	<p>○交流センター長の配置により、施設整備が充実し、学校との連携力も向上した。また毎日の事前会議で児童や保護者の様子を指導員と共有することにより、それぞれの児童に寄り添う対応と指導が出来た。</p> <p>○共働き家庭が増え、利用人数も増加しており、新たな指導員の確保が必要となっている。</p>
--------------	---

事業の評価 方向性 （教育委員会）	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 （評価委員会）	子育て支援の強化は、人口減少に歯止めをかける大切な取組である。 共働き家庭、核家族化が進む中、小学校低学年児童を抱える家庭において、放課後の居場所を確保することは喫緊の課題である。児童の送迎も含め手厚い支援が必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	放課後子ども教室推進事業・子どもの居場所づくり推進事業
目的	放課後及び夏休み中の子ども達の安全・安心な居場所として開設し、地域の方の参画を得て、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進する。
事業内容	4小学校区において地域の指導員の支援を下に、学習やスポーツ、文化活動、交流活動等、さまざまな体験活動を実施する。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	2,214,412	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	1,463,000	子どもの居場所づくり推進事業県補助金 [2/3]
	その他収入	0	
	一般財源	751,412	

実績・成果	<p>○実施回数及び参加状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・印南教室：実施回数 41回、参加申込み率 7.0%(10名/143名)、平均参加児童数 7.0名/回</li> <li>・稲原教室： " 41回、 " 26.6%(17名/ 64名)、 " 13.5名/回</li> <li>・切目教室： " 109回、 " 73.8%(45名/ 61名)、 " 24.4名/回</li> <li>・清流教室： " 35回、 " 31.9%(22名/ 69名)、 " 16.6名/回</li> </ul> <p>○主な活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学習(宿題)、本の読み聞かせ、工作、カプラ、将棋、折り紙、指導員との交流等</li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
判定 及び 考察	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			
	○平日は学習に取り組み、またその後の遊びを通して指導員や友達との交流を深めることができた。			
	○夏季休業期間では、指導員から教わる工作活動等の実施ができ、多くの体験ができた。			
事業の評価 方向性 (教育委員会)	○放課後子ども教室運営委員会では、支援が必要な子について指導員と学校で情報共有をする等話し合いができ、児童に適した指導に繋げることができた。			
	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	学童保育と並び、児童の放課後や夏季休業中の子どもたちの居場所づくり事業である。 夏季休業中の指導員の不足や遠距離通学の児童の送迎等、色々な課題もあるが、保護者の意見・意向等を確かめるアンケート等を取り、改善の余地があるところは改善を進めていくべきであろう。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
	<input type="checkbox"/> 見直す	維持する		
	<input type="checkbox"/> 休止する			
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する				

印南町教育委員会

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	認定こども園運営及び広域保育園園児委託事業
目的	町内の就学前児童が質の高い教育・保育が受けられる環境整備を図り、幼児が育つ中で人権尊重の精神を育み、遊びや体験を通して、友達を大切に作る心や、自ら考え判断し行動できる力の基礎を作ることを目的として実施する。
事業内容	幼保一元化された認定こども園等が円滑に機能し、また低年齢児保育や特別支援保育など、保護者の幼児教育に関するニーズにきめ細かく対応できるよう支援する。

	区分	金額（円）	特記事項
事業コスト	決算額	257,963,350	認定こども園運営費、広域保育園等園児委託料等
財源内訳	国庫補助金	110,153,266	認定こども園等運営費国庫交付金等
	県補助金	50,926,571	認定こども園等運営費県負担金等
	その他収入		
	一般財源	96,883,513	

実績・成果	<p>【園児数】</p> <p>○いなみこども園：249名、町外保育所等：7名（令和6年3月時点）</p> <p>【主な事業内容】</p> <p>○副食費の補助〔年間延人数：2,111人（@443千円）〕</p> <p>○通園バスへ置き去り防止装置導入に係る補助〔通園バス3台（@464千円）〕</p> <p>○延長保育：長時間園児の延長保育〔年間利用：17名、年間延：279回（@244千円）〕</p> <p>○一時預かり：短時間園児の延長預かり〔年間利用：2名、年間延：9回（@1,587千円）〕</p> <p>○保育料国基準半額化：国基準額から半額化〔70人（@12,935千円）〕</p> <p>○3歳児以降副食費助成金：3～5歳児の副食費無償化〔@6,872千円〕</p> <p>○こども園運営補助：加配保育士5名、養護0.5名、処遇改善（@30,000千円）〕</p>
-------	--

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。）				
	<input checked="" type="checkbox"/> 増加	<input type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少	
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）				
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない	
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）				
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない	
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。 <input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。 <input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。 <input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。				
	判定説考 ○保育料の安さはもとより、質の高い幼児教育を実現する為、運営補助金を交付しての職員の加配に加え、専門家による保育研修の実施、子どもたちへの英語教育の早期実施等様々な取り組みを行っている。加えて、令和5年度では、副食費の支援と通園バスへの置き去り防止装置を導入した。 ○優れた人材を確保する観点から、保育士の処遇改善にも取り組んでいるが、本俸の引き上げには至っていない点について課題として認識している。 ○引き続き処遇改善に取り組みつつ、同時に少子化による乳幼児の減少と職員数のバランスを見ながら、財政支援規模の適正を見極める必要がある。				
	事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	「こども園」は印南町の子育て、子どもの教育の基礎作りを担っている最も大切な教育機関である。 「町づくり」のための子育て支援対策として、保育料の国基準半額化、3歳児までの保育預かり、一時預かり、延長預かり等、保護者のニーズに対する対処も手厚い。 通園バスに置き去り防止装置を導入するなど、危機管理に対しての対応も素早く、「安心・安全」への意識が高い。 保育士の処遇の改善、バス利用者の減少に伴う園バスの効率化などが今後の課題である。	
		<input checked="" type="checkbox"/> 維持する			
<input type="checkbox"/> 見直しする					
<input type="checkbox"/> 休止する					
<input type="checkbox"/> 廃止：終了する					

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	教育・保育の質の向上のための研修等事業
目的	認定こども園保育教諭の専門性向上と質の高い人材を安定的に確保する観点から、教育・保育の質の向上を図るため研修等を実施することにより、子ども達の主体的な活動や学びを深め合える指導方法についての理解を推進する。
事業内容	いなみこども園保育教諭を対象とする研修会を実施する。園小中連携事業として学校教職員も研修し、小学校就学に向けての教育・保育内容について相互理解を深める。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	353,500	
財源内訳	国庫補助金	176,000	子ども・子育て支援体制整備総合推進事業費国庫補助金 [1/2]
	県補助金	0	
	その他収入	0	
	一般財源	177,500	

実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学准教授の外部講師を派遣。</li> <li>○実施回数 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする子どもへの支援研修：6回</li> <li>・園小中連携に係る講演会：1回</li> <li>・小・中学校訪問：2回</li> </ul> </li> <li>○主な活動内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>・特別な支援を必要とする子どもへの支援研修については、午前中に保育参観し、午後に支援会議を実施。支援会議では保育教諭、管理職、外部講師が出席し、集団行動への参加が難しい園児や行動問題のある園児、気になる行動のある園児への支援方法の検討、保育環境の改善に向けた支援検討会議を実施。</li> <li>・園小中連携に係る講演会については、保育教諭及び小中学校教職員における合同研修を実施し、幼児教育から学校教育への円滑な移行支援について相互理解を深めた。また、特別教育支援、幼児教育における最新の知見や議論されるトピックスに触れ、認識を広げた。</li> </ul> </li> </ul>
-------	---

事業の評価	必要性（住民のニーズはあるか。事業を行う必要性があるか。）			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性（施策や目的の実現に寄与しているか。）			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性（事務効率化・コスト削減しているか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度（計画どおりに目標を達成できたか）			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がってないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説明	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学准教授の外部講師を派遣し、特別な支援を必要とする子どもへの支援研修を年間6回実施した。協議には担当保育教諭だけでなく、追加で保育教諭が入り、リーダーの役割を担えるように図った。また、園内勉強会での資料にし、全職員への周知を行ったり、グループ協議をする等、学びに繋ぐことが出来た。</li> <li>○園小中連携研修に係る講演会を1回実施し、園の視点だけでなく、小・中学校の視点も含めて講演していただくことで、幼児教育から学校教育への円滑な移行支援について相互理解を深めることが出来た。</li> </ul>
------	---

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	「子どもたちの健やかな成長」、「保護者の安心」を保障するにあたり、保育を預かる保育士の存在は大きい。そのためには、優秀な保育士の確保、保育士の処遇改善、保育士の研修による力量アップは欠かせないものである。 小中学校の統廃合が進むなかで、今後一層の園・小・中の連携を深め、課題を共有し取り組んでいくことが必要である。
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする	維持する	
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する		

令和5年度 印南町教育委員会事業評価調書

担当係名：幼児対策係

事務事業名	外国人講師派遣事業
目的	幼児期に英語に触れる環境を整えることを目的に、外国人講師を認定こども園に派遣し、遊びを通して楽しみながら英語を学び、英語でのコミュニケーション力の習得を図る。
事業内容	いなみこども園3・4・5歳児を対象児に英語活動を実施する。活動は各年齢に適した内容であり、毎月テーマを定めて取り組んでいる。主に歌、カード、絵本、ゲーム、アクティビティーで、遊びを通して楽しみながら英語に親しめるものである。

	区分	金額(円)	特記事項
事業コスト	決算額	1,152,000	
財源内訳	国庫補助金	0	
	県補助金	0	
	その他収入	1,152,000	基金繰入金(未来投資基金)
	一般財源	0	

実績・成果	<p>○活動内容 対象年齢：3・4・5歳児 実施回数：各クラス週1回(30分)延べ85回 実施内容：歌、カード、絵本、ゲーム、アクティビティー等 季節に合わせた活動(ハロウィン等)</p> <p>○依頼講師 コアラ英会話学校(御坊市) B j B u l m e r (ビージェイブレマー)氏</p>
-------	--

事業の評価	必要性(住民のニーズはあるか。事業を行う必要があるか。)			
	<input type="checkbox"/> 増加	<input checked="" type="checkbox"/> 横ばい	<input type="checkbox"/> 減少	<input type="checkbox"/> かなり減少
	有効性(施策や目的の実現に寄与しているか。)			
	<input type="checkbox"/> 十分寄与する	<input checked="" type="checkbox"/> 概ね寄与する	<input type="checkbox"/> あまり寄与しない	<input type="checkbox"/> できていない
	経済・効率性(事務効率化・コスト削減しているか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
第1次評価 (担当者：自己評価)	目標達成度(計画どおりに目標を達成できたか)			
	<input type="checkbox"/> 十分できている	<input checked="" type="checkbox"/> できている	<input type="checkbox"/> あまりできていない	<input type="checkbox"/> できていない
	<input type="checkbox"/> A 取り組みに優れ、十分成果が上がっている。			
	<input checked="" type="checkbox"/> B 一応の成果が上がっている。			
	<input type="checkbox"/> C 成果は十分上がっていないが、改善の余地がある。			
	<input type="checkbox"/> D 成果がほとんど上がってなく、事業実施の見直しが必要。			

判定説考 明察	<p>○コアラ英会話学校の外国人講師が子ども対応に慣れている講師であったため、町の狙いでもある遊びを通して楽しみながら英語に親しむことが出来ていた。</p> <p>○音楽に合わせて歌ったり、カードを使うことで園児は興味を持って参加できていた。また、絵本を見るなど座って参加する活動と活発に動く活動があり、静と動がうまく組み合わせられているので、集中を持続して参加することが出来た。</p> <p>○子どもたちの発音、ヒアリング能力等の様子から、早期に英語に触れ合うことの効果が感じ取れる。</p>
------------	--

事業の評価 方向性 (教育委員会)	<input type="checkbox"/> 拡大する	最終評価 (評価委員会)	<p>早期に英語教育を始めることで、「英語脳」や「英語耳」が身につけやすくなると言われている。従ってこども園での英語活動は意味のある活動であると思われる。</p> <p>一方、小学校での英語学習が本格的に始まり、小学校での既習単語が600～700語程度になる。中学校では小学校での単語(書くこと)が既習済みということで、実質的には中学生にとって単語習得の負担が大きくなっている。</p> <p>総論的には、英語学習の早期化は望ましいことではあるが、今後の一層の小中の連携が望まれる。</p>
	<input checked="" type="checkbox"/> 維持する		
	<input type="checkbox"/> 見直しする		
	<input type="checkbox"/> 休止する		
	<input type="checkbox"/> 廃止：終了する	維持する	